

# 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

## 討論要旨 川村つよし議員

日本が国際競争力を取り戻す上で、情報通信技術を使った生産性の向上が望まれるのは理解をしますが、その担い手を女性だけに求めるものではありません。

これまで様々な仕事をしてきた方たちが、情報通信技術の素養を身につけることで従来の仕事のありようを見直し、さらなる生産性の向上を図った他国の成功例を見ると、女性に限らない話だということが理解できると思います。

政府の説明資料には、育児・介護等でフルタイムの仕事ができない女性という表現がありますが、フルタイムの仕事ができないのは女性に限らないと考えますし、育児や介護の仕事を当然のように女性が行っているようなまとめ方をしてしまう、そのような女性観に大きな問題を感じてしまいます。

政府の口ぶりは、女性に対し家事も育児も介護も女性に担わせた上で、さらに仕事も男性と肩を並べてやれと言っているようで、無償労働を合わせると一体何時間仕事をさせるつもりなのかと、そんな声が聞こえてきそうです。

そうした政府の考えが透けて見えるから、なかなか事が進まないのではないのでしょうか。

日本の場合、様々な職業訓練のメニューを女性に示す以前に、男性も含めた労働環境の改善が必要だと思います。専業主婦の存在を前提として組み立てられた様々な仕組みの見直しが必要だと思っております。

この意見書案には、どうしても違和感を感じ、賛成できないと申し上げ、反対討論といたします。